

釧路湿原川レンジャー News

2024 Vol.3

第2回「釧路湿原川レンジャー学習会」を開催しました！

「第2回釧路湿原川レンジャー学習会」を令和6年8月7日に開催し、17名の川レンジャーが参加しました。今回は、標茶町瀬文平橋上流左岸の中洲において、標茶町内の小学生23名と一緒に、釧路川の「水質・水生生物調査」に参加しました。

当日前半はあいにくの雨模様でしたが、水質調査をテントの中で行い、その後、雨が落ちついたため水生生物調査は実際に川に入って行うことができました。調査終了後、結果についての説明があり、「生き物にとって良好な環境」であることがわかりました。最後に参加者全員で標茶町の牛乳を片手に記念撮影を行いました。



標茶町、瀬文平橋
上流左岸の中洲

位置図

釧路川をバックに記念撮影



標茶町を流れる釧路川の調査

◆標茶町内の小学生とともに6班に分かれて以下の調査を行いました。

- ① 「川の水質を調べよう」
(pH、溶存酸素量、アンモニウム態窒素など)
- ② 「川の生き物を調べよう」
(川に住む生物を捕まえて観察し、川のきれいさを判定するなど)

① 川の水質を調べよう



pH等の測定

② 川の生き物を調べよう



捕まえた生き物の観察

水質調査では「この調査の正確性はどのくらいなのでしょう」、生き物の調査では「この虫を使って釣りをしたんだ」などの声が聞かれました。

■ 水質・水生生物調査の結果

今回の調査結果を表にまとめました。溶存酸素量(釧路川の水に溶け込んでいる酸素の量)・アンモニウム態窒素について調べた「①川の水質を調べよう」の結果は、前者はAランク、後者はBランクとなりました。また、川に生息する生き物をつかまえて調べた「②川の生き物を調べよう」の結果はAランクになりました。標茶町に流れる釧路川の環境が生き物にとって良好である結果となりました。これからもきれいな釧路川の環境を守っていきましょう。

ランク	説明	①川の水質を調べよう		②川の生き物を調べよう
		溶存酸素量 DO(mg/L)	アンモニウム態窒素 NH ₄ -N(mg/L)	水生生物の生息
A	生物の生息・成育・繁殖環境として非常に良好	7以上	0.2以下	I. きれいな水 ・カワゲラ ・ナガレトビケラ 等
B	生物の生息・成育・繁殖環境として良好	5以上	0.5以下	II. 少しきたない水 ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ 等
C	生物の生息・成育・繁殖環境として良好とはいえない	3以上	20以下	III. きたない水 ・ミズムシ ・ミズカマキリ 等
D	生物の生息・成育・繁殖しにくい	3未満	20を超えるもの	IV. 大変きたない水 ・セスジユスリカ ・チョウバエ 等



調査結果の説明に
聞き入る参加者の
皆さま

雨の中の調査
大変お疲れ様でした

■ 北海道開発局主催の「水質・水生生物調査」について

北海道開発局では、北海道の主な河川において、地域住民の方々と一緒に河川の水質調査を毎年実施しています。平成17年からは釧路湿原川レンジャーも学習会として参加し、今年で18回目になります。この調査は、川の水質を参加者が直接確認することにより、川に対する関心を高めることを目的としています。

■ 観察活動の報告

川レンジャーより観察活動の報告がありましたので、ご紹介します。観察活動は川レンジャー活動の柱であり、釧路湿原の河川環境維持に大変役立っています。今後も釧路湿原川レンジャーNewsで紹介していきますので、皆様からの報告をお待ちしております。

報告日	報告内容
2024年7月18日	釧路大規模運動公園内の木道上から、「ミズチドリ」を一株だけ確認しました。7/8に発見し、7/18には満開となっていました。
2024年8月5日	環境省の宮島岬巡視にボランティアとして同行した際、長距離移動をするという「アサギマダラ(蝶々)」一頭を発見しました。羽を広げた時に見せる浅葱色がとても美しく、感動しました。